

登録番号 第 23006 号

フルーツセイバー®

- モニリア病、うどんこ病、灰色かび病、黒星病など幅広い病害に優れた効果を示す果樹用殺菌剤です。
- 特長： ● 既存の薬剤耐性菌にも有効で、優れた予防効果があります。
- 収穫前日数の短さ、作物への薬害が少ないことから、多くの農業生産者から支持されています。

フルーツセイバーは三井化学クロップ&ライフソリューション(株)の登録商標です。

有効成分	ペンチオピラド（化管法第1種）・・・15.0%	包装	334ml×20 250ml×20
性状	類白色水和性粘稠懸濁液体	有効年限	3年
毒性	普通物*	危険物	-

※普通物：「毒物及び劇物取締法」（厚生労働省）に基づく、特定毒物、毒物、劇物の指定を受けない物質を示す。

【適用病害及び使用方法】

2023年7月19日付内容

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンチオピラドを含む農薬の総使用回数
おうとう	灰星病 幼果菌核病 炭疽病 褐色せん孔病	1500倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
なし	黒星病 赤星病 うどんこ病	1500～3000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	黒斑病	1500倍					
	褐色斑点病	1500～2000倍					
ぶどう	灰色かび病 黒とう病 晩腐病 さび病 うどんこ病 褐斑病	1500倍	200～700 L/10a	収穫7日前 まで	3回以内	散布	3回以内
小粒核果類	灰星病 環紋葉枯病 すす斑病（うめ） すす点病（すもも）	1500倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内
	黒星病	1500～2000倍					
もも	黒星病 灰星病 果実赤点病 うどんこ病	1500～2000倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3回以内	散布	3回以内

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ペンチオピラドを含む農薬の総使用回数
初刈り	黒星病 灰星病 うどんこ病	1500～2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
りんご	赤星病 うどんこ病 黒星病 モリア病 すす点病 すす斑病	1500～3000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
	斑点落葉病 黒点病 褐斑病 灰色かび病	1500～2000 倍					
かんきつ	黒点病 灰色かび病 そうか病	1500～2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
かき	うどんこ病 灰色かび病 落葉病 炭疽病 すす点病	1500～2000 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内
いちじく	さび病	1500 倍	200～700 L/10a	収穫前日 まで	3 回以内	散布	3 回以内

使用上の注意事項

- (1) 使用前によく振ってから使用すること。
- (2) 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用すること。
- (3) ぶどうの幼果期（小豆大）以降の散布は、果粉が溶脱するおそれがあるので使用をさけること。
- (4) りんごに使用する場合は、開花期までの散布で果そう葉に褐変または黄変を伴う落葉を生じるおそれがあるので注意すること。
- (5) 空容器は圃場などに放置せず、適切に処理すること。
- (6) 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用すること。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。
- (7) 本剤の使用に当っては使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

人畜に有毒な農薬については、その旨及び解毒方法

本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合には直ちに水洗すること。

水産動植物に有毒な農薬については、その旨

この登録に係る使用方法では該当がない。

引火し、爆発し、又は皮膚を害する等の危険のある農薬については、その旨

通常の使用方法ではその該当がない。

貯蔵上の注意事項-----

直射日光をさけ、食品と区別して、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。